

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
		R 8 年 2 月 21 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	遊ぶスペースと学習するスペースを分けることで、児童同士がぶつからないようにしている。	児童によっては走ってしまうことがある為、人数が多い日は特にフロア内での怪我に注意しなければならない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	4	職員の人数が少なく送迎が回らない時は、学校送迎を徒歩で行っている。休日に送迎を保護者をお願いする時もある。	職員の確保。送迎の工夫。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	トイレやキッチンに段差がある為、歩行が難しい児童には職員が援助している。	段差は変えられない為、利用児童に応じて支援していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日掃除・消毒を行っている。遊ぶスペースと学習するスペースを分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	パニックになってしまったり気持ちが落ち着かない時は、別室にてクールダウン出来るようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	毎月の職員会議や、管理者とのカウンセリングの際に振り返りを行っている。	PDCAを意識して行動出来るように明確化していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員間で検討会議を行い、業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員会議、ミーティング、日常の会話の中で意見を出し合い、話し合いを通して業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	他機関で開催される研修会に管理者は参加している。本社会議や施設での職員会議でも研修を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	施設で作成し、HPにて公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	面談の際に保護者様と十分に相談した上で作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	支援について悩む事案等を職員間で相談・検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	児童個々の支援方法を共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	アセスメントを使用し確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	個々の子どもに合わせた支援内容を設定している。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員間で担当日を振り分け、様々な活動を行えるよう工夫している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	1か月の活動内容を視覚化し、内容が重ならないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別活動と集団活動を組み合わせ作成し、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎朝ミーティングを行い、その日の打ち合わせや注意事項の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	気になることやヒヤリハットがあった日は振り返りを行い、改善に努めている。送迎車の中で職員と共有することもある。	毎日行えていない為、毎日行えるよう努めていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	経過表に記録を残し、改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリング、面談を行い見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	4つの基本活動を毎日取り入れて支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	日常の中で自己決定をする場面を設けている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	保護者の許可を得て医療機関の受診に同行させて頂くことがある。	児童の状況によって連携が必要な時は連携して支援を行う。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	送迎時の遅れる連絡は必ず行っている。児童に関して気になることがある時は相談している。	年間計画等の情報共有は行っていないが、保護者様から行事や下校時間等を正確に聞き取るよう努める。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	児童発達支援事業所から情報をこまかく共有させて頂いている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		今のところ機会はないが、必要に応じて研修等受ける体制を整えていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	地域の公園等で子ども達と関わる機会を作っている。	放課後児童クラブや児童館との交流は検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	桑員圏域障害児通所支援事業所連絡会には参加している。	参加出来ていない為、検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎日連絡帳でのやりとりを行い、送迎の際に子どもの状況や気になったことを伝えていく。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	保護者様からの相談には真摯に向き合い、家で出来る支援を伝えている。	ペアレントトレーニングに関しては行えていない為、検討していく。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時にお伝えしている。	個別支援計画書の更新時にも再度説明を行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者様、子どもの意向を必ず確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	内容の説明、確認を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	相談や悩みについてはその都度面談を行ったり、電話や連絡帳にて助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6		父母の会については、コロナも落ち着いてきた為、検討していく。保護者様からの意見も参考にさせて頂く。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情やご意見を頂いた際は、すぐに対応するようにしている。保護者様の意見や要望に耳を傾け、適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	3	HPやSNSは各施設で扱えない為、活動中の児童の写真を連絡帳に添付する等して保護者様に様子をお伝えしている。	会社のブログ更新時や訓練・イベントの情報を伝えられるように通信を作成することを検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	特に写真や電話番号の取り扱いには十分留意している。	
非常時等の対応	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	保護者様の気持ちを大切に、寄り添う姿勢を大切にしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	事業所に招待することは出来ていないが、地域のイベント等には参加している。	地域の方を招待することについては、コロナも落ち着いてきた為、検討していく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルがあることをお伝えし、訓練も定期的実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定し、定期的に必要な訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	服薬に関しては契約時、面談時に保護者様から確認を行っている。てんかん発作の子どもに関しては特に詳しくお聞きしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	児童全員のアレルギーリストを掲示しいつでも確認出来るようにしている。	今のところ食物アレルギーのある児童はいないが、今後十分に注意する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	研修や訓練を定期的に行い、安全に過ごせるよう管理している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時、面談時に説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットが起こった際はすぐに報告書を作成・共有し、改善に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待に関する研修を定期的に行い、職員全員で意識を高めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	今のところ該当児童はいないが、児童によっては別室で職員と一緒にクールダウンする等の配慮を行っている。	